

特**集**

テクノフロンティア 民生及び産業用機器・装置メーカーの開発設計・研究者、生産技術者との情報交流の場

TECHNO-FRONTIER 2018

「TECHNO-FRONTIER2018（テクノフロンティア2018）」（主催：日本能率協会）が、4月18日（水）～20日（金）の3日間、千葉県・幕張メッセで開催される。例年、メカトロニクス・エレクトロニクス技術の発展と普及を支援するアジアを代表する要素技術専門展示会として注目されている。

『テクノフロンティア』は、「モータ」「電源」など、メカトロニクス・エレクトロニクス技術を構成する要素技術の専門展示会で、第36回 モータ技術展、第27回 モーション・エンジニアリング展、第11回 メカトロニクス技術展に加え、今回は第1回AI/IoT活用技術展など9つの専門展示会を開催する。それと合わせて集中展示として、自動運転支援技術コーナーほか、自動車カットモデル展示コーナー、記念講演会・セミナー、特別企画としてドローン飛行デモンストレーションなどを予定している。

モノづくりを支える最新の要素技術と、開発設計・生産技術のプロフェッショナルたちが出会い、出展者側の技術者と来場者の間で専門的な話題を語り合うなど、コミュニケーションを図れるところが大きな魅力となっている。

■今回も見所満載

●「**モータ技術展**」は民生用から産業用まで、小型（小形）・精密モータから中・大型の各種モータ、制御技術、計測・解析技術、材料、素材など、モータに関する最新製品・技術、応用製品について、ご紹介いただく場である。自動車の電動化に伴う車載モータの需要増加に加え、レアアース確保問題、産業用モータ・ドライバの省エネ・高効率化の観点からも国内外問わず本展への注目度が高まっている。

●「**モーション・エンジニアリング展**」はモーション・メカニズム、機械要素、アクチュエータ、モーション・コントロール、モーション・センサなど、駆動・伝達・制御の最適ソリューションが一堂に集う専門技術展。本展対象技術領域は“高精度”“高効率”“高機能”製品の開発を支援する。

●「**メカトロニクス技術展**」は電機・電子機器、自動車、輸送機器、産業機械等あらゆる分野の自律・自動化、制御技術、および関連システム・機器を一堂に集め、メーカー・ユーザ間のビジネスマッチングを実現する専門展示会。メカトロニクス・エレクトロニクス・ソフトウェア領域の横断的な「協調と制御」を実現するヒントを提案する場になっている。

●「**電源システム展**」はスイッチング電源、パワーコンディショナー等による電力変換や、UPS、キャパシタ等による電力安定供給に関する最新技術が一堂に集まる、日本で唯一・最大規模の専門技術展。スマートグリッド・省エネが注目される中、電源システムの存在意義はますます大きくなっている。本展は、産業機械、自動車、電機機器や精密機器をはじめとするあら

ゆる業種のエンジニアへ、製品・技術をPRする絶好の場を提供する。

●「**エコパワーソリューション展**」は二次電池を含む蓄電技術や給電技術、微少な発電技術、その構成部材・評価装置等を対象にした専門技術展。電源システム展、モータ技術展との相乗効果により、より多くの来場者を展示会場に動員する。

●「**EMC・ノイズ対策技術展**」は、電磁波ノイズ対策部品・材料をはじめ、計測機器、測定施設、EMCコンサルティングまで、EMC・ノイズ対策に関連する最新技術が一堂に集う、国内唯一の専門技術展。新たな規格や技術に対する、ノイズ対策の総合的なソリューションが提供される場として、国内外のエンジニアから高く評価されている。

●「**熱設計・対策技術展**」は熱解析及び、熱設計・技術から熱対策製品・材料、さらに熱利用機器・技術までを出展対象とする、熱に関する総合ソリューションを来場者に提供する展示会。電子部品・機器の小型化・高密度化に伴い、製品のPQCDに及ぼす熱対策の影響はますますその重要性を増している。さらに省エネの観点から熱利用も進む中、本展の注目度は年々上がっている。

●「**AI/IoT活用技術展**」は最近のA/I（人工知能）技術の発達は、予想を上回るスピードで進んでおり、今世紀半ばには、人間の能力を上回るAIが登場する事態（シンギュラリティ）が起こり得るという議論も起こっている。また、AIの活用範囲は非常に広範に渡っており、今までとは異なるビジネスや技術への応用も期待されている。様々なビジネスシチュエーションに役立つAIの技術を紹介する。

■ホットな技術・製品を集中展示

集中展示として「自動運転支援技術コーナー」は、自動車・船舶・航空機・機械に向けた機械要素部品と



加工・成型技術に関するコーナー。

- ・測位・地図認識：測位センサ、測位装置（GPS他）、地図ソフトウェア、カメラ など
- ・走行環境、障害物認識：各種センシング機器、レーダ、カメラ など
- ・全体環境認識、認知関連：AI（人工知能）、認識関連ソフトウェア、冗長化技術、半導体 など
- ・操舵制御関連：センサ、モータ、操舵装置 など
- ・速度制御関連：モニタ、センサ、エンジン、ブレーキ、ECU、駆動用モータ、モーション技術 など
- ・先進運転支援システム（ADAS）
- ・自動走行システム（AD）

■まとめ

『ものづくり』を支える最新の要素技術と、幅広い分野の開発設計・生産技術者が会う、「未来をかたちづくる最新情報を得る場」「課題解決のための商談の場」として以下の構成で展示。

■特別企画

- EMC・ノイズ対策技術展 特別企画
- 自動車カットモデル展示コーナー
 - 車両ハーフカットモデル
 - 日産「ノートeパワー」
 - ホンダ「レジェンド」「フィット」
 - エンジン単体カットモデル
 - トヨタ「86」
 - フォルクスワーゲン「ゴルフ」

ダイハツ「タント」
マツダ「スカイアクティブディーゼル」「ロータリーエンジン」
日野「デュトロ」

- IoTが拓く次世代ものづくりの世界
“製造業におけるIoT活用”の目的と成果をわかりやすく解説し、参加各社の最新の製品・技術を紹介する。
展示予定企業（順不同）
 - ・オリエンタルモーター
 - ・ジェイテクト
 - ・日立産機システム
 - ・ファナック
 - ・三菱電機
 - ・安川電機
 - ・EtherCAT Technology Group
 - ・Edgecrossコンソーシアム
 - ・ORiN協議会
 - ・オムロン
 - ・e・オータマ
 - ・TFFテクトロニクス社
 - ・ニチコン ほか
 - ・ドローン飛行 デモンストレーション など

■併設開催展示会

第4回 国際ドローン展
第3回 駅と空港の設備機器展
同時開催 技術シンポジウム

BtoB製品情報 200 items/month

新製品情報